

総合振興計画等評価委員会 答申

①総合振興計画等目標指標の状況(主な指標)

目標指標	基準値(H30)	実績値(R2)	目標値(R6)	備考
出生数	119人／5年 年23.8人(H27-R1)	26人	150人／5年 年30人(R2-6)	
社会増減数※	±0人／年 (H27-R1)	-2人	+5人／年 (R2-6)	
婚姻数	14組／年 (H26-30)	9組	20件／年 (R2-6)	
Uターン 移住者数	47.5人／年 (H27-30)	40人／年	53人／年 (R2-6)	
ふるさと納税 件数と納税額	4,896件 1億4,189万円	6,552件 2億4,975万円	6,500件 2億円	目標達成

※社会増減数:転入から転出を差し引いた数

「第2次総合振興計画後期基本計画」「第2期総合戦略」で定めた施策の進捗や成果を、評価委員会(田中稔 委員長)で評価し、9月10日に答申書が提出されました。

評価委員会での意見は、来年度事業の組み立てに反映していきたいと考えています。主な意見は下記のとおりです(詳細は町ホームページに記載)。

②施策ごとの主な意見

政策1 自治・協働

●まちづくり組織への住民参加の推進

新型コロナウイルス感染症拡大防止や災害などで、研修やイベントがほとんど中止されているが、できることをできる範囲でやることも必要では。

●地域コミュニティの活動支援

集落調査から集落計画へと進められているが、集落支援員や公民館と行政が連携し、どの地域も遅れることがないように進めてほしい。

政策2 教育・文化・子育て

●本に親しむ環境づくり

図書館は、図書館長が配置され、住民が利用しやすい環境が整えられた。社会福祉協議会のデイサービスの方が借りられるように対策を講じられている。

政策3 産業

●経営基盤の強化

去年は新型コロナウイルス感染症のため商工業は大変であった。この中、企業に対して柔軟な支援や柔軟な対応をされ、事業者は大変喜んだ。収束は見えないが、引き続きさまざまなことで支援をお願いしたい。

政策4 保健・医療・介護・福祉

●健康的な生活習慣の向上

食育として、これを食べしてほしい、これを食べなさいという指導ではなく、添加物の危険性を伝え、農薬をあまり使っていない食材を選ぶなど、食について住民や特に子育て世代を教育していく取り組みが必要。

●地域福祉体制の強化と担い手の育成

介護人材の確保ができず、介護施設では利用者人数を制限する状況も見られる。介護人材を確保するため、定住対策と連携しつつ何かしらの特典などを考えてほしい。

政策5 生活環境

●住環境の整備

住宅を整備することもいいが、定住住宅の方は集落に入らず定住住宅のグループに入ってしまう。空き家の活用であれば、その地域の自治会に入ることになり、地域に馴染みやすくなることもある。町おこしやまちづくりに繋がりやすいのでは。

●防災設備の整備

風水害が多くなってきている。ケーブルテレビの機能を使い、建設課や産業振興課などで吸い上げた情報を流す伝達システムを再度検討してほしい。

政策6 自然環境

●自然環境保全意識の啓発

自然環境の学習は、子どもも必要ではあるが、大人も必要ではないか。大人を対象とした学習も検討してみてもいい。



集落実態調査



飯南町中央図書館

島根県知事へ 要望活動

10月12日(火)に、丸山知事に対して要望活動を行いました。重点要望項目は次のとおりです。

①飯南病院の医療従事者等の確保

住民が安心して暮らせる医療体制を維持するための継続した医師派遣や、看護師、薬剤師など医療従事者の確保

②ツキノワグマの被害防止対策

ツキノワグマの出没や被害への柔軟な対応(捕獲)。ツキノワグマの狩猟解禁に向けた国への働きかけ
※中国地方では、島根県・広島県・山口県でツキノワグマの狩猟が禁止されています(令和4年9月まで)

③広域道路網の整備

瑞穂・高野インターアクセスと新銀山街道の未整備区間の道路整備。豪雨災害時の新たな交通網確保に向けた町道小田線の県道昇格
■問合せ まちづくり推進課
ℓ76・2864



町の政策・課題を説明



まちを元気に！地域おこし協力隊

町内のさまざまな地域課題の解決に取り組む「地域おこし協力隊」の活動を紹介します。今月は、教育魅力化を担当する渡邊彩子さんの活動報告です。

こんにちは。教育魅力化担当の渡邊です。私は昨年度まで「高校魅力化」を担当していましたが、今年度から「教育魅力化」を担当しています。飯南高校だけでなく、学習支援館で中学生と関わったり、赤名小学校の放課後子ども教室で小学生と関わったりと、活動の幅が広がっています。

とはいっても、メインの活動は「高校魅力化」です。今回は、特に関わっている生命地域ラボ(生徒の「ヤリタイ」をカタチにする有志のクラブ)の一角を紹介します。

「ホテルを生で見たことがないから見てみたい」という、県外出身の生徒の言葉がきっかけで参加したのが「ホテル観察会(来島公民館主催)」でした。ホテルを見た生徒は「こんなにたくさんのホテルを見られて嬉しい」と感動していました。町内出身の生徒の中には「ホテルは庭で見られるよ」と話す生徒もいて、県外出身の生徒ならではの感動だったのではないかと思います。



生徒と新しい企画を練り上げ中



観察前に「ホテルのふしぎ」を学びました

私自身、川から山にかけて飛び交うホテルを見るのは初めてで、生徒から飯南町の魅力を新たに教えてもらう体験になりました。これからは生徒と一緒に飯南町の魅力をたくさん見つけていきたいです。